

フレールベル自傳

(第十回)

(マイニンゲン大公に宛てたる書翰)

倉橋 惣三 譯

七十四、外的世界の擴大

斯く決心すると同時に私は勇んで教育及び訓化といふことに就て考へ始めました。

第一に私が思ひ耽つたことは教育を適當に行ふには兒童の生活を分け前しなければならぬといふ明かな信念でありました。次に「初歩教育とは如何」。「ベスタロッチの主張に係る教育方法には如何なる價值があるか」。「就中教育の目的は如何」といふ諸問題が起つて來ました。

「教育の目的は如何」といふ問題の答としては私はその頃次の見界に依つて居りました、

人は己が支配され而して又己が支配しやうと望む物質世界に生きる、故に人は是等の物質の性質、

状態、彼等相互及び人類との關係を知るべきである、物質は形體、容積、數を持つてゐる。

「外的世界」といふ言葉を私はその頃たゞ自然といふ意味に使つて居りました、私は自然物に心を専らにするのあまり人の技巧や製作物を顧みませんでした。それがために長い間人の手細工をベスタロッチの後進トブレルやホツプフと共に初歩の修養の適當な主題と眞倣すには骨が折れました而して私が人の製作品の世界をも外的生活の一部と認めることが出来るやうになつた時私の内的及び外的の視野は著しく廣くなりました。

斯うして私は當時これ以上出來ないと思ふまでに人を通じてすべての物の意味、人とその人自身

との關係及び外的世界と人との關係を明かにしやうと努めました。

この頃私の思附いた最も含蓄ある思想といふのは次の如きものであります。

すべては渾一である、すべては渾一に従ふ、すべては渾一より湧き出で渾一のために戦ひ漸次渾一に達し而して遂に渾一に歸る、この渾一の中に戦ひ渾一を求めて戦ふことが人生に於ける數相の眞因である。

けれども私の内的幻影と私の外的知覺、影像及び行動との間には大きな溝が横はつて居りました。それ故に人の教育及び訓化のために得なくてはならない又得らるべきすべてのものは必ず人そのものと及びその人が係はつてゐる關係に於てその人の發達の必要な過程の性質によつて條件附けられ定められねばならぬと私には考へられました。

是等の關係を注意して之を認め更らに之を支配し調査するやうに訓練された人がよく教育された

人であると私には考へられました。

七十五、生徒と共にする生活

私はこの期間に於て甚だ熱心に研究しました、けれども教育の方法と目的とは兩方とも微小の斷片に分れた全然秩序のない辻褄の合はぬものとなつてしまひました。それで私は數年の間すべての教育方法に統一した次第と生氣ある渾一とを興へやうと絶えず心掛けてゐましたが太した進歩を見ませんでした。

當時私の言馴れた又言馴れたが爲めに特性的に私の願望を言ひ現すやうになつてゐた言葉は「私は相互連絡に於けるすべてのものを見たい、知りたい、而してそれを現したい」といふのでありました。

それでも幸にもその頃サイレルやジェーン、ポールや其他教育者の著書が世に現れました。

夫等の著書は私と意見を同じくして更に優れてゐるのもありましたし又私と意見を異にしてゐる

のもありまして私を裨益し向上するところが尠くありませんでした。

ペスタロッチの教育法はその言論に於ては人間の要求を充たしてゐることを私は知つてゐました、しかしそれは生きた方としてゝはありません。しかし此頃私が解釋に大いに頭を痛めてゐた問題——私の生徒には分らなかつたかも知れませんが私かに苦惱してゐたことは教育の主意の間に何等の組織的關係がないといふことでありました。

愉快な自由な仕事はすべてのものを渾然たる一物と見る概念から湧き出で、生活と仕事とを宇宙の組織と調和させ又その上にしつかりと懋はしめるやうにします。これが私の熱心に感知した眞の教育でありましたから私の初期の教育の仕事は生徒と一緒に居て私の生活と仕事の力によつて彼等を感化することに止まつて居りました。これより以上には私は與へる地位には居りませんでした。

あゝ人といふものは始めて得らるゝ幸福を如何

に曲解し而して如何に尠くその價値を認むることよ。

今私が教育家としての適當な生活及び仕事に關して私自身を明かにせんとするに際し當時の記憶は更に新しく私に甦つて來るのであります。

私はこれから私の先生の生涯の幼年期を顧みてそれから學びます、丁度それと同じく私は又私の幼年期を顧みてこれを調査し就て學ぶのであります。

何故すべての幼年期、少年期は富に充ちてゐるのに敢てそれに氣附かないのであるのでせう、而して何故それを知らずに失つてしまひ、永久に再び手に入らぬやうになつた時始めて如何にそれが大切であつたかを知るのでせう。それは何時もそんな風になつて行かねばならないのでせうか、どんな幼児でも少年にでも之れはそんな風になつて行かねばならないのでせうか。

經驗や洞察力や年齢に連れた見聞や智識そのも

のやが少年の幼児期のために防備や庇護や保安を
なす時がつまりは到來するのではないでせうか、
直きに到來するのではありませんまいか。

老人の經驗や碩學の智慧もその所有主と共に墓
石の下に埋められてしまつては人類に何の用をか
なませう。

始めの内は生徒と共にする私の生活と仕事とは
狭い範圍に局限されてゐました。それは唯戸外に
生活し逍遙し散歩に行くことのみでありました。

私は都會の教育方法を好みませんでした、而か
も尙自然に包まれた生活をば敢て教育の課程とし
やうとはしませんでした。

それは私の幼い生徒から教へられたのでありま
した、而して私は私自身の教養の都合から自然に
對して現れるすべての匂やかな感覺を出来るだけ
熱心に育みましたので生徒の間には自然物から感
得する生命に包まれたる喜び、生命を與へらるゝ
喜び及び生命を向上させらるゝ喜びが直きに發達

しました。

翌年に至つてこの生活の仕方は父親がその子供
達に牧場の一部を花園用として與へたことによつ
て更に増大されました。これを耕作するために私
達は協力して働きました、私の生徒の一番大きな
喜びは彼等の庭園からの産物を両親や私に少しづ
ゝ贈るといふことでありました。

彼等が都合よく贈物をする事が出来たときに
彼等の眼は如何に喜悅を以て輝いたでせう。

神の大なる花園なる野原の美しい花や小さな灌
木は私達によつて子供の庭園に移し植ゑられまし
た、而して其處で注意深く育まれました。如斯き
移住者が同地方の住民の中に明かに數へらるゝ時
に二人の少年は殊に大喜びをしました。

この時以來私自身の少年期はもう空費されてゐ
ると思はれませんでした。

私は植物を注視してその自由な成長のすべての
状態を研究した人と自然から離れてゐる人とは

植物の栽培といふ事が全然異つた事であるといふことを認めました。

七十六、洗禮の祝文

而して當時既に私は私の最初の生徒達と共に自然の懷に抱かれて楽しく愉快に暮しましたので私は自然生活の訓練は人間生活の訓練に非常に密接な關係を持つてゐるといふ事が分り始めました、何故ならば彼の花や草の贈物は両親や先生の愛の感佩と認識とを現さなかつたでありませうか、夫等は少年期の特性的は愛情と熱烈な感謝の念との所産ではなかつたでありませうか。自ら思ふが儘に花を探し出して両親と先生に贈る花環や花束を作ることが出来るやうにそれを注意し保護する様な子供がいたづら子になつたり悪人になつたりする筈はありません。

斯る子供は容易く愛に導き感謝に導くことが出来ます、又是等の花を與へて両親の心を悦ばせるために自分を愉快な花の寄贈者としてくれる神な

るもの、慈悲を認めさせる事が出来ます。

奮闘の時代は其中に神に取つて特殊な意義の要素を含んで居りました。それは私の前に様な進歩の跡を示してゐる私の過去の生涯及び殊に其の生涯に形を與へ影響を與へた所の重なる事件の原因と結果を齎しました、而して私の生涯に於ける極めて初期の出來事を顧る事は特に重要な事である様に私は常に思ひました。

けれども私は私の幼年期の具體的な事實に關しては極く僅かな材料しか残つて居りません、何故ならば私の幼兒を知つてゐて私にその頃のことを話してくれる私の母は私の生活が眞に呼び醒まされる前に此世を去つてしまつたからであります。

私の手許に残つてゐる僅な遺物の中に私の教母からの祝辭(所謂洗禮文)がありました。それは私が洗禮を受けると間もなくチューリングゲンの習慣に従つて教母が私の世に出た祝ひの印として贈つたものであります。それが父の死後私の有に歸

しました。

單純な基督教徒の優しい宗教的な女らしい心根の籠つた此文は平明な懐しみのある言葉で幼い基督教徒と其洗禮によつて彼が繋がれたものとの關係を現してゐました。

此文を通して私の幼年期及び少年期の心情の内の生活が當時の心安さと幸福とを伴つて私の前に齎されました。この事を考へると私の心は私が非常に欲してゐた獨創的な激勵的な啓蒙的な渾一を再び得ました。

けれども同時に私の幼年期及び少年期のすべての決心が再び私の上に甦つて來ました、而して此等の決心が成就されない内に如何に多くの決心が其上に起つたであらうかといふことが分つて來ました。而してそれは薄弱な子供らしい空想を強めた種々な先例や理想の記憶をそれに續いて私の前に持運んで來ました。

けれども私の生活は感情と理智に關する事柄を

除いては外的に定まつた形式の中に立ち能ふべく又敢て立つべくそれから又他の生活に決定的な關係を結ぶべく餘りに内面的な而して餘りに嚴格な個的生活でありました。

實際私自身を適當に發表する力は極く最近に私に得られたのであります。私の現在の教育的仕事を始めてからも却々得られなかつたのであります。此教育的仕事の全期間に於て私の個的生活が孰の方面から見ても普通の人類の存在よりも異つてゐたといふ事を思ひ出すことが出來ません。

けれども私がこの事に就て確乎とお話をする前に私の幼年期の生活の事情に就て報告を得なければなりません。其事は甚だ明かであります。私が話してゐる當時の私の生活は只その一般普通の間人的状態に於てのみ私の記憶の中に存して居りました。

後年に至つても左様であつたのですが當時も私の内的生活を外的生活から引離して考へ又内的生

活殊に宗教に關する内的生活に一定の形を與へ外的の表現を與へるといふ事は私に取つては困難でありました。

七十七、子供と宗教

感情を通じて眞摯な確信を通じて教會の一定した宗教的形式が私の心に届いて居り而して私を清め且つ刺戟しましたけれども私は人々殊に生徒と是等の一定した宗教的形式に就て話すのを好まなかつたといふ事を敢て否定しやうとはしません。

私は是等の形式を單純な健全な人々に私に理解せられてゐたと同様に明瞭に生々と理解させる事が出来ませんでした。此見地からして私は自然に育てられた子供は定つた教會の形式を必要としないといふ事を結論します。

何故ならば愛情を以て育まれ、それがために絶えず力強く發達して來た人の生活及び煩ひなき子供の生活はそれ自身に於て基督教信者の生活であり又あらねばなりません。

私は更に生活の深い眞義か或は宗教の深い眞義を與へられてゐる子供はそれによつて嚴格な教義が生活にまで輝かされ促進される純な男らしい生活に取圍まるべき青年になつた時に於て教會の教義の獨創的な積極的な形式を命令的に必要とするといふことを結論いたします、然らざれば子供は同化することの出來ない獨創的な宗教の形式に其尊き全生活を抛げ出してしまふ危險に陥ります、是に於て形式と生活が一體となつて働き互に光を注ぎ合ひ恰も内的生活と外的生活、特殊なものと同様なものとの如く親しく提携して進んで行く所の最高き信仰が見出さるゝのであります。

けれども私は此の長い横道から戻り而して教育者としての私の生活と仕事との記事を再び始めねばなりません。

身體の運動はまだその教育的價値に於て私に認められませんでした、私はたい繩の上を跳ぶ事と私の子供らしい練習を通じて竹馬に乗る事しか知

りませんでした、是等の運動は私の生徒及び私の嗜好及び思慮にありませんでしたので私等の日常生活に何等の關係を持つてゐませんでした、そこで私達はそれをたい子供らしい遊びと心得てゐました。

自然が人の前に赤裸々に横はる時に於て年が人に齎す所のものを自然がその人の注視から屢々鎖される時に於ては年はその人にそれを齎しません而して二つの季節が反對の賜を齎すために二つの時期は交る交る反對なものを要します。

一年の後半部に於て人が自身にかまければかまける程その人の職務は益々範圍の狭い個的特性を帯びて來ます。

恰も冬の生活と自然が固定され局限されると同じ様に冬の生活と人も固定され局限されます。それ故にこの時に於ける子供の生活は或る定まつた流行物を要求するか或は定つた流行に形造らるべき流行外れの物を要求します。

私の生徒は直きに此の新しき要求に驅られて私の許に來ました。苟くも生活があり若くはあつた所に於ては生活の要求する所の物は生活がこれを供給します、苟くも少年が居り若くは居つた所に於ては少年が要求する所のものは少年がこれを供給します、老いた人の生活が大人から或は多くの大人から要求する所のものは其の要求が正しく生活し續けられて來た時は幼兒の生活及び少年の生活に由つてこれを供給されます。

七十八、遊戯と自然の創造

私の生徒の要求は私に次の疑問を起させました
汝の少年時代に何をなしたか。汝は爲すべく而して表現すべき何物かに向つての汝の要求を満足せしむべく汝に何者が起りしや。汝の生涯の同時期に於て何によつて此の要求が充分満足せられしか
又汝は當時この目的に對して何を最も望みしか。
扨て必要に當つて私の要求するすべてを與へた幼年期の記憶が私に起つて來ました。

それは滑かな紙の上に頃合の筆鋒を以て模様や形を寫し出すやさしい技術でありました。

私は後年屢々この簡単な技術を利用しました、而してこの時も亦それは私の生徒と私に忠實に役立ちました。私達の技藝は最初は師弟共に未熟でありましたが馴れるに従て速かに進歩しました。

私達は紙の上に描いた形から紙を以て形を切抜くことに移つて行き、それからボール紙で作るやうになり遂に木片で作るやうになりました。

私のその後の經驗は形體の研究に一番都合のいゝ形状や材料を私に教へましたがこの事に就ては私はその適當な場所に於て別に述べやうと思ひます。

けれども私はこの紙の上に形を現す極めて簡単な仕事に就てもう少し述べなければなりません、何故ならば或る時期にはそれは全く子供を惹き付けます、而して子供の機能の要求を充して満足させます。

これは何故でせうか。それは子供に容易く自發的に而して同時に不知不識の間にその獨創力に應じて直截な明快な多方面な結果を與へます。